



県民の願い実現へ全力!!

くらし、子育て応援の県政を

待機児童解消は、認可施設増設と保育士処遇改善で

兵庫県は、2018年4月1日時点で、待機児童増加数全国ワースト1となっています。そのうえ県の待機児童対策の中心が、職員配置や設置基準が大幅に緩和されている「企業主導型」保育であることが浮き彫りに。「企業主導型」保育の監査は、パソナに業務委託されており、保育の質確保が懸念され、国は、指導監査のあり方の検証に乗り出すほどです。

県は、待機児童数増加を正面から受け止め、保護者の要望でもある認可施設増設、処遇改善による保育士確保を抜本的に強める対策を行うべきです。

2017年度 定員拡大実績

企業主導型保育事業	98施設	1,932人
国の市町への保育所等整備交付金活用分	53施設	1,580人
安心こども基金活用分	12施設	161人
既存施設への受け入れ拡大		433人
合計	163施設	4,106人

少人数学級 中学3年まで拡大を

県民の運動と100回を超える党県議団の質問で、全国に先駆けて実施された少人数学級。

国の制度改変により全国にひろがり現在では、小学校全学年では22府県、中学校全学年では23府県が実施しており、兵庫県は小学4年生までに留まる全国でも遅れた県となっています。

党県議団は、「基礎定数」改善による教職員の抜本的増員と財政措置を国に求めるとともに、県の判断で、小学5・6年、中学校での35人学級実現を求めました。



国保料(税)の引き下げを

国保料は、子どもも含め世帯人数に応じてかかる「均等割」、各世帯に定額にかかる「平等割」という国保にしかない算定方式により、協会けんぽよりも1世帯あたり、約1.5倍も高くなっています。全国知事会は、「協会けんぽなみに引き下げるために1兆円の国の補助が必要」と政府に要望。

党県議団は、国へ公費の増額を求めるとともに、国保料引き下げのために、子ども分の均等割減免制度の創設することなどを提案しました。



2017年度 国保料滞納状況等

滞納世帯数	102,315世帯	12.9%
短期証発行世帯	28,347世帯	3.6%
資格証明証発行世帯数	6,429世帯	0.8%
延べ差し押さえ数	7,635世帯	+1259世帯(前年比)
差し押さえ金額	約30億3,000万円	+3億円(前年比)

旧優生保護法の強制不妊手術による人権救済を求める

旧優生保護法のもと強制不妊手術による人権侵害に対し、兵庫県でも聴覚障害を持つ2組の夫婦が国家賠償責任をもとめる訴訟を起こしています。

旧優生保護法は、知的障害や精神疾患、遺伝性疾患などを理由に本人同意のない不妊手術を認め、深刻な人権侵害が行われていました。県も「不幸な子どもの生まれない施策」として推進してきた責任は重大です。

党県議団は、日本国憲法のもとで、あってはならない人権侵害が行われたことに正面から向き合い、憲法を遵守し、国と県の責任を明確にし、反省と謝罪、実態調査と人権救済に取り組むべきと求めました。

地元合意のない病院統廃合は中止せよ

兵庫県地域医療構想は、団塊世代が75歳以上となる2025年、2014年比662床の病床削減をかけた、病院統廃合を推し進めようとしています。

北区済生会兵庫病院と三田市民病院の統合計画に対し、住民からは「市内から公的病院がなくなるのか」と不安・反対の声が大きくひろがっています。

党県議団は、病床削減ありきの「地域医療構想」は見直し、住民合意のない統廃合は中止すべきと主張しました。



昨年8月29日 三田市民病院、北区済生会兵庫病院の統廃合の見直しを求めた住民らの申し入れ

兵庫県内のおもな病院再編・統廃合・縮小	2007年	但馬全域の公立7病院を機能再編する基本計画策定
	2011年	明石市立市民病院を独立行政法人化して398床から357床に
	2013年	三木市民病院(323床)と小野市民病院(220床)を統合し、北播磨総合医療センター(450床)に
	2015年	県立尼崎病院(500床)と県立塚口病院(400床)を統合し、県立尼崎総合医療センター(730床)に
	2016年	加古川西市民病院(2011年、加古川市民病院を改称、405床)と加古川東市民病院(2011年、神鋼加古川病院を改称、198床)を統合し、独立行政法人の加古川中央市民病院に 公立朝来(あさご)梁瀬医療センター(50床)と公立朝来和田山医療センター(139床)を統合し、朝来医療センター(150床)に
	2017年	日高医療センター(99床)の「あり方検討委員会」が「入院機能廃止」と提言。日高地区住民76%の「継続を求める」署名が集まり30床残す(縮小)「整備基本計画」を策定
	2018年	八鹿(ようか)病院が10月、420床から380床に縮小
	2019年	県立柏原(かいばら)病院(303床)と柏原赤十字病院(167床)が統合し、県立丹波医療センター(仮称、320床)として当初238床で開設予定
	2022年	県立姫路循環器病センター(350床)と製鉄記念広畑病院(392床)を統合し、県立はりま姫路総合医療センター(仮称、736床)として開設予定
	その他	三田(さんだ)市民病院(300床)と済生会兵庫病院(268床)が統合の動き 市立伊丹病院(414床)と近畿中央病院(445床)の連携を検討中 川西市立川西病院(250床)を指定管理者制度で民間医療法人に運営委託し、その医療法人経営の病院(313床)と統合して新病院(400床)とする構想案